

さいたま市長メッセージ（令和2年10月28日）

皆さん、こんにちは、さいたま市長の清水勇人です。

本市では、10月26日までの1週間で、877件の検査を実施し、40名の新規陽性者が判明しました。クラスター関係者の検査が概ね終了したため、前の週と比べて26名減少しています。

本市では、感染拡大防止のため、9月以降に3件のクラスターが発生した大宮南銀座地区で、接待を伴う飲食店の従業員に唾液によるPCR検査を行うこととしました。10月21日に、実施通知書と検体採取容器を、対象となる201店舗に送付しており、順次検査を行ってまいります。

また、浦和区の劇団クラスターについては、濃厚接触者や劇団関係者以外にも対象を広げて検査を行い、10月24日時点で、劇団関係者以外に83名を検査し、新規陽性者は発生していません。

10月23日の国の感染症対策分科会が、新型コロナウイルス感染症は主に、クラスターを介して拡大するとして、感染リスクを高める5つの場면을提示しました。

これまでも示されている「飲酒を伴う懇親会等」や「大人数や長時間に及ぶ飲食」、「マスクなしでの会話」、「狭い空間での共同生活」といった場面のほか、「居場所の切り替わり」という新たな場面が示されました。休憩時間や、活動後の更衣室など、一息つくタイミングにも、気を緩めることなく、感染対策

意識して行動しましょう。

10月31日は、ハロウィンの日です。近年は、ハロウィンを楽しむ方が多くなり
ましたが、屋外であっても、密集状態や、密接な距離で大声を出す行為は
感染のリスクが高まります。今年は、リスクに注意しながらご家族や親しい方
だけで楽しんでいただきたいと思います。